

豪雨時の防災意識に関する研究

1年3組 東 歩希 1年3組 白井さくら 1年3組 関本 結
 1年3組 山本 夢那 1年4組 村上 文菜
 指導者 松崎 安紀

1 課題設定の理由

一昨年の夏、西日本豪雨が発生し、愛媛県にも被害が及んだ。その時、私たちの防災意識の低さに気づかされた。これからも異常気象による豪雨災害が起こると考えられる。そこで、市民の防災意識について調べ、さらに向上させるために私たちに何ができるかを考えたいと思い、この課題を設定した。

2 実験・研究の方法

(1) アンケート

- ア 日時 2019年11月14日(木) 14:40~16:00
- イ 場所…フジ宇和島店
- ウ 調査人数…96人
- エ アンケート項目

- ① 警戒レベルがいくつになったら避難するか
- ② 災害時に備えて備蓄しているものは何か
- ③ 災害や避難に関する情報をどのように得ているか

(2) 集計分析

エクセルで集計、グラフ化したものを基に考察した。

3 結果と考察

アンケート結果を図1~4にまとめた。図1, 2から、「全員避難」とされている警戒レベル4までに避難すると答えた人が全体の71%を占めていたので、人々の防災意識が高いことが分かった。しかし、いつ避難するか決めていない人は全体の13%もいた。警戒レベルについての情報をまだ知らない人もいるからだと考えた。また、図3から、災害時に備えて備蓄しているもので、飲料、食料は多かったが、マスクやトイレットペーパーなど衛生に関するものは少なかった。備えるように呼びかける必要があると感じた。図4から、現在、インターネットが普及しているがテレビから災害や避難の情報を得る人が多かった。

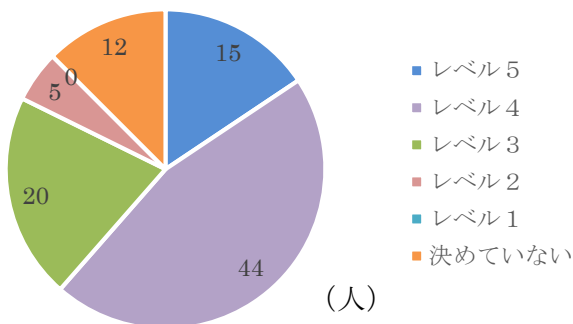


図1 警戒レベルがいくつになったら避難するか

<避難情報等>		<防災気象情報>	
警戒レベル	避難行動等	避難情報等	【警戒レベル相当情報(例)】
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。 (市町村が発表)	災害発生情報 ^{※2}	警戒レベル5相当情報 災害発生情報 大雨特別警報 等
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。 (市町村が発表)	避難勧告 ^{※3} 避難指示(緊急) ^{※4}	警戒レベル4相当情報 注意危険情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル3 高齢者等の避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。 (市町村が発表)	避難準備・高齢者等避難開始 ^{※5}	警戒レベル3相当情報 注意警戒情報 洪水警戒 等
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。 (気象庁が発表)	洪水注意報 大雨注意報等 ^{※6}	これは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。 (気象庁が発表)	早期注意情報 ^{※7}	

図2 警戒レベル (気象庁ホームページより引用)

(単位：人)

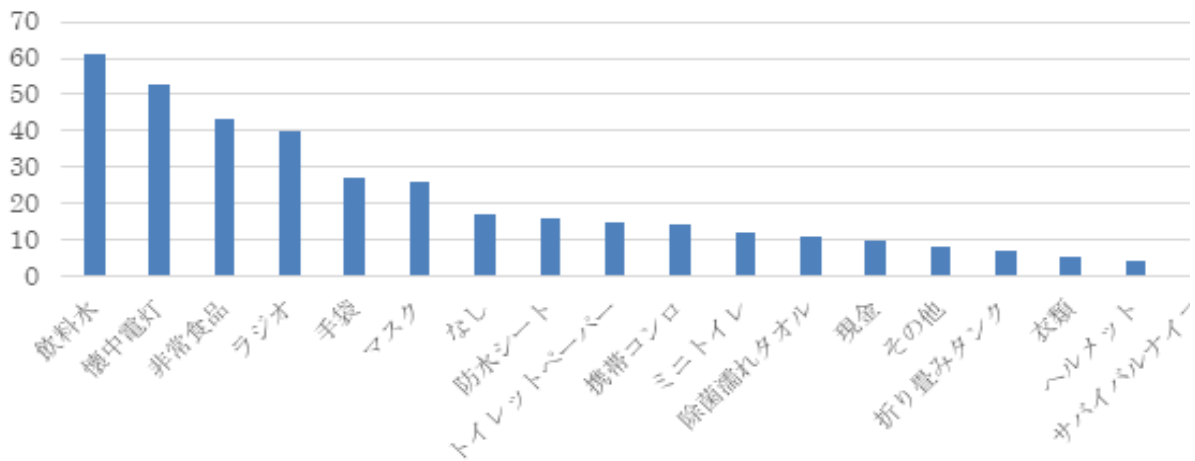


図3 災害時に備えて備蓄しているものは何か

(単位：人)

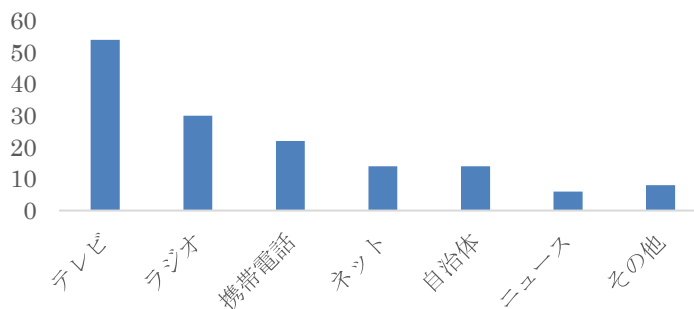


図4 災害に関する情報をどのように得ているか

4 まとめと今後の課題

今回のアンケート調査から、災害や避難についての情報はテレビから得ている人が多いことが分かった。また、災害時に備えて飲料、食料を備蓄している人は多いが、衛生に関するものを備蓄している人は少ないと知ることができた。これからさらに、身の回りの人の防災意識を高めるためには、UCATなどで放送されるテレビ番組で、飲料、食料に加え、タオルやティッシュなどの衛生に関するものも備蓄しておくことが大切だということや、警戒レベル3で高齢者等が、警戒レベル4では全員が避難しなければならないことを伝えるべきだと考える。

参考文献

- ・島田知佳ほか5名(2017)「南海トラフ巨大地震と地域の防災意識」『平成27年度SSH生徒課題研究論文集愛媛県立宇和島東高等学校 p.55-56
- ・国土交通省 気象庁 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/alertlevel.html>